



放射線技術科学専攻の

在校生が答えます

Q & A Student's



将来きつと役に立つ
様々な経験を
大学生生活で得ることが出来ます。

2018年入学
●出身高校/
中津南高校

菅本 天
Sugamoto Sora

Q1 保健学科を志望した理由はなんですか？

A 前から人の命を扱う医療の現場には興味を持っていました。その中でも放射線治療には関心がありました。また機械をいじるのも好きだったこともあり、医学と理工学の両方の領域を学ぶことができ、放射線治療の研究にも関わることができる保健学科の放射線技術科学専攻を志望しました。

Q2 どのような受験勉強をしてきましたか？

A 苦手な科目はまず基礎を固めるために基本的な疑問から解決していくように取り組みました。得意科目では応用的な問題を多く解いて抜けを無くしていきました。ずっと勉強していても気が減ってしまふので気分転換は大事だと思います。

Q3 実際に入学してみてどうですか？

A アルバイトや部活などこれまで経験したことのないことが出来て毎日が新鮮です。大学での勉強も様々なことを学べるため面白いです。とても充実した学生生活ができています。

Q4 受験生の皆さんにメッセージをお願いします。

A 受験勉強は大変かもしれませんがその先には充実した学生生活が待っています。諦めてしまつてはこれまでの努力が無駄になってしまいます。皆さんを待っています。頑張ってください。



授業紹介

専門科目の一部を紹介します

放射線物理学Ⅰ・Ⅱ

医療に用いられる放射線にはどのような種類があるのか、それらの発生方法、エネルギー、物質との相互作用など、放射線の基礎を学びます。ベクレルやシーベルトなど放射線にかかわる単位を理解することもこの授業の目的です。

臨床画像解剖学Ⅰ

画像診断装置では人体はどのように描出されるのか。正常人体の解剖を学ぶとともに、単純X線（レントゲン写真）やX線CT、MRIなど各種診断装置に映し出される解剖学的構造が理解できるよう、読影描画の演習も行います。

臨床撮影技術学Ⅰ・Ⅱ

良いX線写真を撮影するために必要な技術を学びます。患者さんとのコミュニケーションのとりかた、疾患や撮影部位に応じた条件の設定や苦痛を与えないポジショニングなども重要なポイントです。

放射線治療工学概論

放射線治療に利用されている放射線発生装置や照射装置の原理と構造を学びます。例えば各種加速装置、コバルト遠隔治療装置、ガンマナイフ、サイクロトロンなどが対象となります。